

仕様

仕様は、商品改良のため予告なく変更することがあります。

品名	食器洗い乾燥機	製品質量	21kg
品番	115-5065型	給湯圧力	0.03~1MPa (0.3~10kgf/cm ²)
型式名	DW-S23BR	洗浄方式	マジックターン方式
電源電圧	交流100V	すすぎ方式	ためすすぎ
周波数	50/60Hz共通	乾燥方式	強制排気乾燥方式 (ヒーター間欠通電とファンによる送風)
定格電流	13.1/13.5A (50/60Hz)	標準食器容量	食器点数 35点 (まな板をセットした場合33点)
消費電力	洗净モーター 105/145W(50/60Hz) ヒーター 1200W 最大消費電力 1305/1345W(50/60Hz)		
外形寸法	(幅)446mm×(奥行)511mm×(高さ)477mm		

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。

愛情点検

長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！



このような症状はありませんか
 ●水もれがある。
 ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
 ●食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる。
 ●端子付けが熱いたりグリグリしている。
 ●その他の異常や故障がある。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

大阪ガス株式会社

給湯タイプ 食器洗い乾燥機

品番 115-5065型

型式名 DW-S23BR

取扱説明書

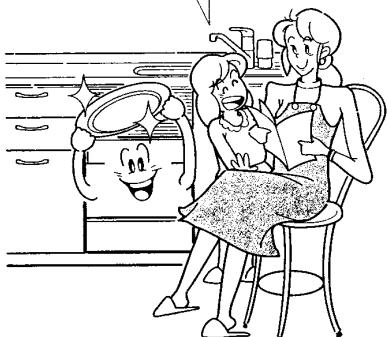
保証書別添付

1 約80℃の高温で雑菌対策 高温コース

2 軽い汚れはすばやく洗う スピーディ & 快速洗いコース

3 食器から調理器具までセットできる らくらく食器力ゴ

4 食器点数 約35点 5人用



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

上手に使って上手に節電



目次

ご使用の前に

使いかた

その他

安全上のご注意 1~3

お願い 3

入れてはいけないもの 4

落ちない汚れ 4

各部のなまえ 5~6

●付属品 6

操作パネル部のなまえとはたらき 7~8

コースの切り換わりかた 9~10

使いかた 11~12

コースの説明 13~14

所要時間の目安 15~16

各コースの操作手順 17~19

いろいろな運転のしかた 20

食器の入れかた 21~23

仕上がりが悪いと思われる場合 24

凍結・停電・断水したとき 24

お手入れ 25

据え付け 26~27

パネルの変更(交換)方法 27

異常表示 28~29

こんなときは故障ではありません 29

別売品 30

アフターサービスについて 30

仕様 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

△ 警告

この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、「注意（警告）事項」を示します。
(左図の場合は、「一般注意」を示す。)



○ 記号は、「禁止事項」を示します。
(左図の場合は、「分解禁止」を示す。)



● 記号は、「強制事項」を示します。
(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。)

・内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 警告

お子様に注意する

○ 子供だけで使わせたりしないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

○ お子様が中へ入らないように注意してください。
また、使用後は必ずドアを閉めてください。中からドアは開きません。

運転中または、終了後30分間はヒーター・カバーに触れない
 運転中または運転終了後
30分間は絶対にタンクや
ヒーターやヒーター・カバー
に触れないでください。や
けどをする恐れがありま
す。

自分で絶対に分解や修理はしない

○ 改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご相談ください。

本体への水や衝撃は禁物

○ 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

○ 運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

・お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

△ 警告

電源プラグの取り扱い

○ 定格15A以上の専用コンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分歧コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

○ 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく洗いでご使用ください。
火災の原因になります。

○ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

○ 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

○ 交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

アースは確実に取り付ける

○ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース接続の取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

異常がある時は電源プラグを抜く

○ 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検修理をご依頼ください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以降にする

○ 食器の取り出し、フィルターやヒーター・カバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

火気や引火物を近付けない

○ 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。
変形や火災の恐れがあります。

安全上のご注意 (つづき)

△ 注意

高温水や湯気に注意する

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水や排水が高温になっており、手を触るとやけどをします。

排気口付近には近付かないでください。湯気、温風によりやけどをすることがあります。

長期間使用しない時は電源プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

お願い

➡ 内の数字は説明のあるページです。

他の給湯(水)栓にも注意してください

・給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の給湯(水)栓からも高温のお湯が出ることがありますので、注意してください。やけどをする恐れがあります。

70℃より高温のお湯は使わないでください

・70℃より高温のお湯が供給される給湯配管には接続しないでください。

専用洗剤以外は使わないでください

・一般的台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
・一般的台所用洗剤が付いた食器は、入れないでください。

※異常表示が出る場合があります。

②異常表示 参照

※専用洗剤は、お買い上げの販売店、またはもよりの大坂ガスでお買い求めください。

③別売品 参照

ラッチの穴に物を入れないでください

・ラッチの穴には指や物を差し込まないでください。故障、事故の原因になります。

排気口はふさがないでください

・乾燥が不十分になりますので、排気口はふさがないでください。

入れてはいけないもの ➡ 内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器などの軽くて小さい食器

- ・洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ・ヒーターかバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので注意してください。発煙や故障の原因となります。



耐熱90℃以下の樹脂製のもの（耐熱表示のないものも含む）・ほ乳瓶の乳首など小さくて線状のもの

- ・変形します。
- ※まな板に関しては ②3 まな板の場合 参照



ふきん・スポンジなど

- ・食器および調理器具以外は入れないでください。
発火、発煙の恐れがあります。



クリスタルグラス・カットグラス・強化ガラス

- ・クリスタルグラスは、表面が浸食され白くになります。
- ・カットグラス、強化ガラスは水温変化で割れることがあります。
※乾燥のみでの使用は可能です。



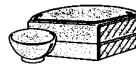
びん・徳利などの食器・ひびの入った食器

- ・口の小さいものは、中が洗えません。
- ・ひびが入った食器は割れる恐れがあります。



漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器

- ・はがれる恐れがあります。



銀製・洋銀製食器など

- ・金色にかわり、その後黒く変色します。



アルミ製の鍋や食器

- ・白くなり、その後灰色に変色します。



落ちない汚れ

- ・手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
こすり落としてから入れるか、手洗いでください。一般的台所用洗剤で手洗いされた食器を入れるときは、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。すすぎが不十分だと、庫内で泡が異常に発生、正常に運転できません。

※異常表示が出る場合があります。 ②8 異常表示 参照

〈例〉



グラタンのこげつき



茶わん蒸しなどのがんこな汚れ



鍋の焼けこげ



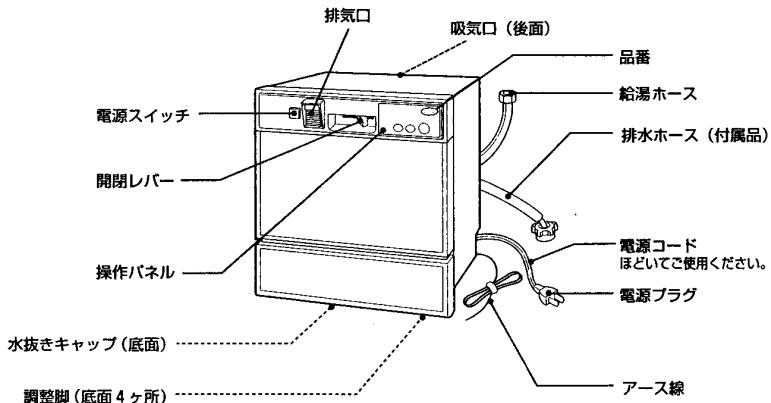
口紅の汚れ



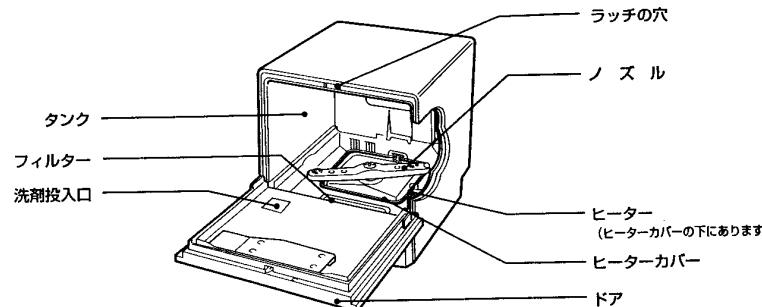
レモン汁をかけたさしみの跡

各部のなまえ

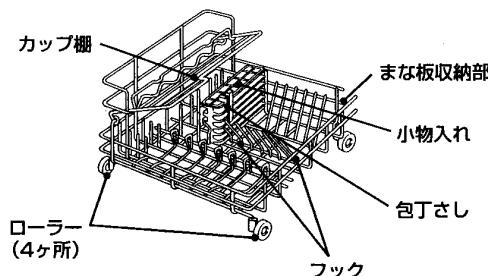
前面



庫内



カゴ



操作パネル部のなまえとはたらき

▶ 内の数字は説明のあるページです。

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

オートオフ機能

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。
「カラッと仕上げ」を行わない場合は、運転終了後10分間、間欠送風運転を行った後に「切」になります。

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。

表示ランプの見かた

- 消灯
- 点灯
- 点滅

切 入

電源スイッチ
(オートオフ)

「乾燥」ボタン

乾燥時間を選ぶときに押します。

運転中でも乾燥行程に入る前であれば、時間を変更することができます。

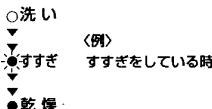
- 「60分」…食器をしっかり乾燥させたいとき。
- 「30分」…食器をあたためたいとき。
- 「余熱乾燥」…乾燥行程を行わないとき。
- 「カラッと仕上げ」…庫内の結露を防ぎたいとき。

▶8 「カラッと仕上げ」 参照

進行表示ランプ

運転の経過をランプでお知らせします。

- 運転中は現在の行程が点滅し、行程終了後消灯します。



カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分行います。(ヒーターは入りません。)

- 乾燥行程終了後、自動的に行います。
(間欠音がしますが、異常ではありません。)
- 「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。
▶10 「カラッと仕上げ」の変更 参照
- 「カラッと仕上げ」中は「スタート/一時停止」ボタンは受け付けません。
ドアを開けると一時停止状態となり、ドアを閉じるとスタートします。
- 「カラッと仕上げ」中に運転を止める場合は、電源スイッチを「切」にしてください。
- 「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開けていると、自動的に電源スイッチが「切」になります。

「スタート/一時停止」ボタン

運転を「スタート」または「一時停止」させるとときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押してください。
- 運転中にドアを開けるときは、ボタンを押して一時停止状態にしてからゆっくり開けてください。再びスタートさせるとときは、ドアを閉じてからもう一度ボタンを押してください。
- ボタンを押さずにドアを開けた場合も、自動的に一時停止状態になります。

ご使用の前に

- 洗い
- 60分
- 30分
- 余熱乾燥
- カラッと仕上げ

進行表示

- 高温
- 標準
- スピーディ
- 快速洗い
- 乾燥のみ

乾燥

コース

OSAKA GAS
115-5065

スタート
一時停止

「コース」ボタン

食器の汚れ具合、洗いかたに応じて押します。

- 「高 温」コース…しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき
- 「標 準」コース…食事のあとすぐ洗うとき（普通の汚れのとき）
- 「スピーディ」コース…軽い汚れを短時間で洗うとき
- 「快 速 洗 い」コース…軽い汚れ（パン食など）、つけおきした食器、または軽くすいだ食器を洗うとき
- 「乾 燥 のみ」コース…手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

▶9 「コース」の変更 参照

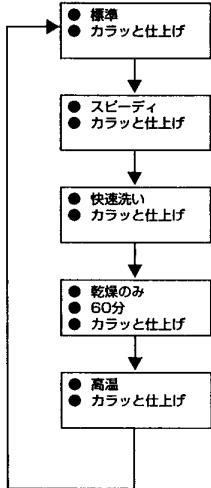
運転中は、「コース」変更ができません。もう一度最初からやり直してください。

コースの切り換わりかた

◇スタート前（運転開始前） ランプ点灯部のみ表示しています。

「コース」の変更

スタート前に「コース」ボタンを押すと「コース」を選択。ランプが、下記のように切り換わります。

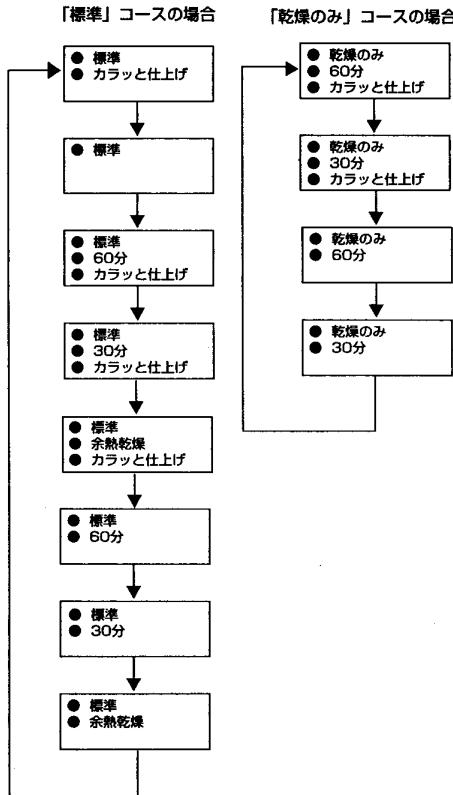


表示ランプの見かた

● 点灯

乾燥時間の変更

「コース」を選んだ後、乾燥時間の変更ができます。「乾燥」ボタンを押すと、下記のようにランプが切り換わります。



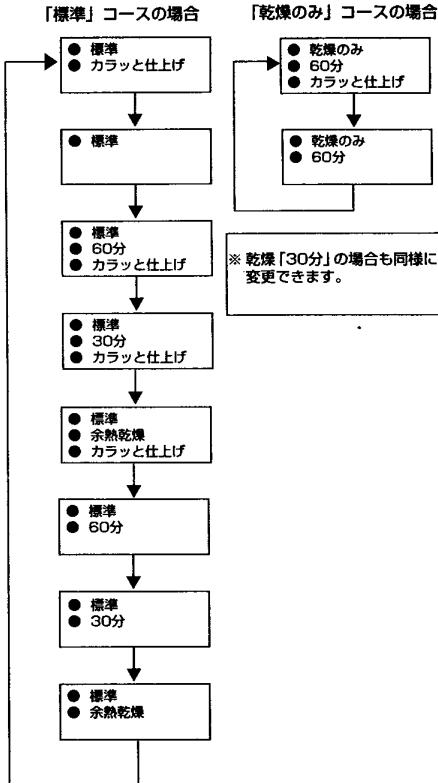
※「スピーディ」「快速洗い」「高温」コースの場合も「標準」コースと同様に変更できます。

※「乾燥のみ」コースの場合は、余熱乾燥を選ぶことはできません。

◇スタート後（運転開始後） ランプ点灯部のみ表示しています。

「乾燥のみ」・「カラッと仕上げ」の変更

スタート後に「乾燥」ボタンを押すと「乾燥時間」「カラッと仕上げ」の変更ができます。ランプが、下記のように切り換わります。



※「スピーディ」「快速洗い」「高温」コースの場合も「標準」コースと同様に変更できます。

その他の

コースを選びまちがえてスタートした場合
電源スイッチを「切」にし初めからやり直してください。

コースの記憶について

電源スイッチを「切」にしても記憶しています。

* 「標準」「スピーディ」「快速洗い」「高温」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。
次回電源スイッチを「入」にすると前回使用した運転コースが表示され「スタート一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。
* 「乾燥のみ」コースを運転した場合は、コースを記憶しません。

各コースの加熱すすぎ温度について

コース	加熱すすぎ温度
標準	約70°C
スピーディ	約65°C
快速洗い	約40°C~60°C
高温	約80°C

運転前の準備

①アース線が接続されているか確認する。

②本機への止水栓が開いているか確認する。

③電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認する。

➡～➡ 据え付け 参照

*本機への止水栓を開け忘れる運転しません。但し、「乾燥のみ」コースはのぞきます。

*給湯器の電源が入っていることを確認し、給湯温度70°C以下の設定にしてお使いください。

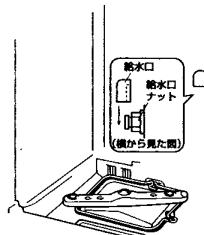
給湯温度の設定は60°Cをおすすめします。

給湯温度が低いと所要時間が長くなります。

給湯温度が70°C以上の時は、運転途中で止まることがあります。

*庫内の後面に給水口が付いているか確認してください。

外れていた場合、給水口ナットの溝に沿わせて奥まで差し込み下向けてセットしてください。(右図参照)



食器を入れる前に

①フィルターとヒーターカバーが正しくセットされているか確認する。

お願ひ

フィルターを正しくセットしないと故障の原因になります。

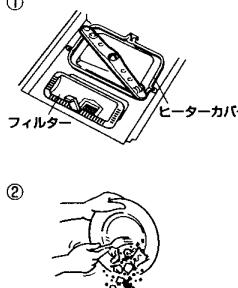
②食器の残菜(食べ残し)を取り除く。

ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどは取り除いてください。

ケチャップやトマトジュースの汚れは、あらかじめ落としてください。ドアやタンク及びカゴに色うつりすることがあります。

*入れてはいけないものや、落ちない汚れがあります。

➡ 入れてはいけないもの・落ちない汚れ 参照



運転後のあとしまつ

①フィルターを取り出す。

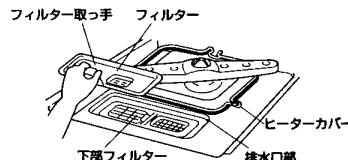
(残菜を庫内に落とさないように注意してください。)

②たまたま残菜を捨て、フィルターを洗う。

*下部フィルターにゴミがたまつ場合は取り除いてください。

➡ 下部フィルターのお手入れ 参照

③フィルターをもとどおり排水口部にセットする。



*フィルターを洗わない目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。

*ヒーターカバーに汚れが付着した場合は、取り除いてください。

➡ ヒーターカバーのお手入れ 参照

*底部に残水がありますが異常ではありません。

*運転終了後は、給湯器の給湯温度設定をふだんお使いの温度に設定し直してください。

警告

!
乾燥終了直後はフィルター・フィルター取っ手・ヒーターカバー・ヒーターの表面が熱くなっています。
30分
乾燥後に
食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは、乾燥終了後30分以上たって庫内が冷えてから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

コースの説明

下記のコースでは、スタート直後に約1分間の準備行程を行います。(「乾燥のみ」コースはのぞ

▶ 準備行程について 参照

標準コース 食事のあとすぐ洗うとき(普通の汚れのとき)

洗い → すすぎ2回または3回* → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約60°C) (約70°C) (25分)

*すすぎ2回目終了後の湯温が約42°C以下の場合、すすぎが3回になります。

スピーディコース 軽い汚れを短時間で洗うとき

洗い → すすぎ1回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約52°C) (約65°C) (15分)

*加熱すすぎの温度が低く、乾燥時間が短いため、乾燥終了後多少水滴が残る場合があります。

高温コース しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき

洗い* → すすぎ3回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約60°C) (約80°C) (25分)

*「標準」コースより、洗いを約10分間長く行います。

乾燥のみコース 手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

乾燥 → カラッと仕上げ 又は 乾燥 → カラッと仕上げ
(60分) (30分)

*最初に排水を約1分間行います。その後、乾燥行程を行います。(洗い、すすぎ行程は含みません。)

▶ 内の数字は説明のあるページです。

きます。)

快速洗いコース 軽い汚れ(パン食など)、つけおきした食器、または軽くすすぐ食器を洗うとき

洗いからすすぎまでを約10分で行う高速洗浄コースです。
ちょっとした洗い物に便利です。

(乾燥行程を含むと約25分になります。)

*洗い行程をスタートしてから2分後の湯温が約42°C以下の場合、
洗い時間が約3分長くなります。

洗い* → すすぎ1回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約30~50°C) (約40~60°C) (15分)

*加熱すすぎは、約1分で終了します。乾燥まできっちり行う場合は乾燥60分をおすすめします。
給湯温度が低い場合、乾燥15分終了後多少水滴が残る場合があります。

*油汚れ等のしつこい汚れは、残る場合がありますので、他コースの使用をおすすめします。
ただし、スポンジ等で汚れを取る、お湯にしばらくつけておく等の前処理をすればこのコースでもご利用いただけます。

*短時間で食器の洗浄を行いますので、給湯器の設定温度は60°Cにしてお使いいただくことをおすすめします。

*加熱すすぎ終了後、ブザーが2回鳴ってすすぎ終了をお知らせします。
その後続けて乾燥行程を行いますので、乾燥行程を省きたい場合は電源スイッチを「切」にしてください。

使いかた

所要時間の目安

➡ 内の数字は説明のあるページです。

・下表の所要時間は、給湯圧力0.3MPa(3kgf/cm²)、室温20℃、給湯温度60℃の場合の目安です。
(所要時間は水圧、湯温、室温、給湯能力によって変わります。)

- ・下表の所要時間には、「洗い」「すすぎ」とともに、給・排水行程を含みます。
- ・下表の所要時間には、「カラッ」と仕上げの時間(約60分)は含みません。
- ・湯温が低い場合、所要時間が長くなります。

コース	所要時間	所要時間の内訳					説明の ページ
		準備	洗い	すすぎ	乾燥		
		1分	12分	17分	25分	17 → 5 18	
標準	約55分						
スピーディ	約30分	1分	7分	7分	15分	17 → 5 18	
快速洗い	約25分	1分	5分	4分	15分	17 → 5 18	
高温	約87分	1分	22分	39分	25分	17 → 5 18	
乾燥のみ	約60分				60分		19
	約30分				30分		

*標準コースのすすぎ2回目終了後の湯温が約42℃以下の場合、すすぎの3回目を行います。

準備行程について

- ・「乾燥のみ」コース以外、スタート直後に準備行程を行います。
- ・準備行程は、庫内や給湯配管内にたまつた冷たい水を排水し、洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために約1分間の給・排水を行います。
- ・準備行程は取り消すこともできます。

➡ 準備行程を取り消したい場合 参照

余熱乾燥について

- ・加熱すすぎの後乾燥行程を行いません。加熱すすぎ終了後、余熱による自然乾燥を行うコースで経済的です。

乾燥60分について

- ・冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥」ボタンで「60分」を設定してください。
- ➡～➡ 乾燥時間の変更・「乾燥のみ」の変更 参照
- ・ただし、乾燥60分でも食器が乾ききらない場合もあります。
- ・「乾燥」ボタンで「60分」を設定すると、所要時間は左表より、「標準」「高温」コースで約35分、「スピーディ」「快速洗い」コースで約45分長くなります。

乾燥30分について

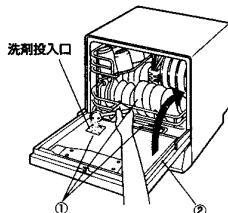
- ・食器をあたためる場合、乾燥時間を少し延長したい場合は、「乾燥」ボタンで「30分」を設定してください。
- ➡～➡ 乾燥時間の変更・「乾燥のみ」の変更 参照
- ・「乾燥」ボタンで「30分」を設定すると、所要時間は左表より、「標準」「高温」コースで約5分、「スピーディ」「快速洗い」コースで約15分長くなります。

排水について

- ・排水のみを行いたいときは、「コース」ボタンで「乾燥のみ」コースを選んで運転してください。スタート後、約1分で排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

各コースの操作手順

標準 準スピーディ 快速洗い 高温 コース



本機への止水栓が開いているか確認してください。

① 残菜を捨てて、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる

(洗剤は専用洗剤の計量スプーン一杯分(約4.5g)入れてください。
油汚れの多い場合は、洗剤を多め(一杯半~二杯)に入れてください。)

*洗剤投入口に必ず入れてください。それ以外の所へ入れると準備行程中に洗剤が流れ出でしまいます。

② ドアを静かに閉め、開閉レバーを必ず「とじる」の位置に合わせる

(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)

ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

③ 電源スイッチを「入」にする

・給湯器の運転スイッチを入れます。

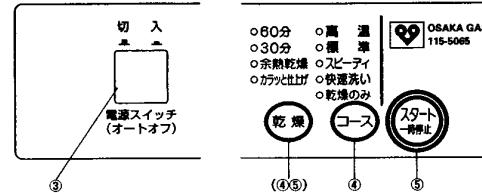
*運転ランプの点灯または種火がついているかを確認してください。

・給湯器の給湯温度を設定します。

*給湯温度の設定は60℃をおすすめします。(必ず70℃以下の設定にしてください。)給湯温度が低いと、所要時間が長くなります。また、給湯温度が70℃を超えると本機の故障の原因になります。

*給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の給湯(水)栓からも高温のお湯が出ることがありますので、注意してください。やけどをする恐れがあります。

➡ 内の数字は説明のあるページです。



④ コースを選択する

「コース」ボタンを押し、おこのみのコースに合わせる。➡「コース」の変更 参照
乾燥時間を変更したいときは、「乾燥」ボタンを押して変更します。

⑤ 「スタート／一時停止」ボタンを押す

スタート後に乾燥時間を変更するとき、または「カラッと仕上げ」を行わないときは「乾燥」ボタンを押して変更します。

➡「乾燥のみ」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

<「快速洗い」コースを選択した場合の注意事項>

*乾燥まで、きっちり行う場合は乾燥時間「60分」をおすすめします。

*加熱すぎ終了後、ブザーが2回鳴ってすぐ終了をお知らせします。その後、続けて乾燥を行いますので乾燥行程を省きたい場合は、電源スイッチを「切」にしてください。



●ブザーが3回鳴ったら運転終了(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

*「カラッと仕上げ」を設定していない場合、運転終了後の「カラッと仕上げ」は行いません。

フィルターのあとしまつをする(30分以上たって庫内が冷えてから行ってください。)

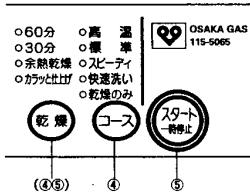
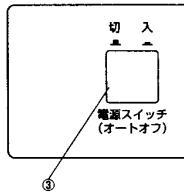
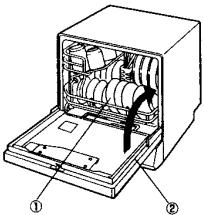
➡運転後のあとしまつ 参照

各コースの操作手順(つづき)

■ 内の数字は説明のあるページです。

乾燥のみ コース

手洗いした食器を乾燥するとき（60分）
食器をあたためるとき（30分）



- ① 食器をカゴにセットする（洗剤は入れないでください。）
- ② ドアを閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)
- ③ 電源スイッチを「入」にする
- ④ 「コース」ボタンを押し、「乾燥のみ」コースを選ぶ
「乾燥」ボタンを押し乾燥時間を選ぶ
➡ 「コース」の変更 「乾燥時間」の変更 参照
- ⑤ 「スタート／一時停止」ボタンを押す
 - 「カラッと仕上げ」を行わないときは、スタート後に「乾燥」ボタンを押して変更します。

⑥ プザーが3回鳴ったら運転終了（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

* 「カラッと仕上げ」を設定していない場合、運転終了後の「カラッと仕上げ」は行いません。

いろいろな運転のしかた

※ プレーカーを切ったり、停電及び電源プラグを抜くと下記の設定はすべて解除され初期状態（購入時の設定）に戻ります。

終了ブザー音を消したい場合

- 電源スイッチを「入」の状態で「スタート／一時停止」ボタンを4秒間押し続けると、受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り、終了ブザー音が鳴らない状態になります。

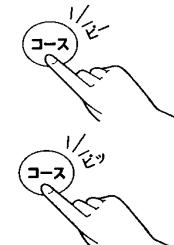
(スタート前及び運転中いつでも受け付けます。ただし、運転中に止むと一時停止状態になりますので、その際は「スタート／一時停止」ボタンを押し、再スタートしてください。)

- 再び終了ブザー音を鳴らす状態にするには、同じ操作を行ってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り、終了ブザー音が鳴る状態になります。



準備行程を取り消したい場合

- 電源スイッチを「入」の状態で、スタート前に「コース」ボタンを4秒間押し続けると受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り「準備行程」を行わない状態になります。



- 再び「準備行程」を行いたい場合は、同じ操作を行ってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り「準備行程」を行う状態になります。

(準備行程を取り消すと運転時間が長くなります。)

コースの記憶について

（電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

- 「標準」「スピーディ」「快速洗い」「高温」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。再び電源スイッチを入れると前回使用した運転コースが表示され「スタート／一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。

「乾燥のみ」コースを運転した場合は、記憶せず初期状態（購入時の設定）に戻ります。

食器の入れかた

標準的な食器のセット例

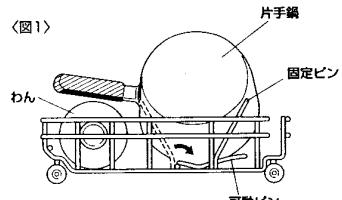
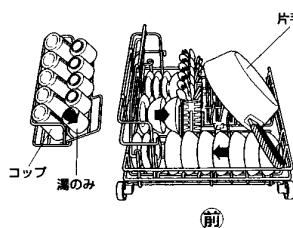
5人用のセット例

茶わん……5
吸物わん……5
大皿……5
中皿……3
小皿……7
湯のみ……5
コップ……5
はし
スプーン
フォーク
ナイフ
小物

お願い

- 食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
- 食器が重ならないようにそろえて入れてください。
- 重なっている部分は、噴射水が十分にあたらいため洗えません。
- 標準的なセットの場合は、必ず大皿部の可動ピンを確実に立ててからご使用ください。
- カゴは前後逆向けに使うことができます。

調理器具と食器をセットする場合



〈右から見た図〉

- 大きな鍋等をセットするときは、可動ピンを〈図1〉のように倒し、鍋等のふちを固定ピンに引っかけるようにしてセットしてください。

お願い

- 大きな鍋・ボウル等は内面を下向きにし、噴射水が当たるようにセットしてください。
- 一般食器を洗う場合は、必ず可動ピンを確実に立ててから、食器のセットを行ってください。

この食器カゴには5人分(約35点)の食器が入ります。その他に大皿部の可動ピン方式により広いスペースがとれ、調理器具等もセットできます。

5人用食器の入れかた(食器は内面が矢印方向に向くようにセットしてください。)

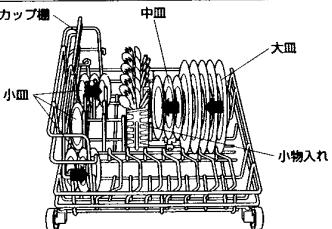
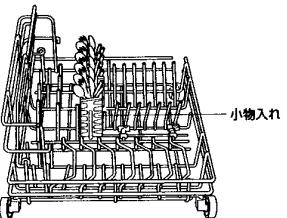
1 小物を入れる

- はしは汚れている方を下に、スプーン、フォーク、ナイフは汚れている方を上にして入れます。

お願い

- 小物が小物入れの横から飛び出さないように注意してください。
- プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフ等は入れないでください。落として、ヒーターカバーに触れるなど溶けたり、臭いの原因になります。

④入れてはいけないもの 参照

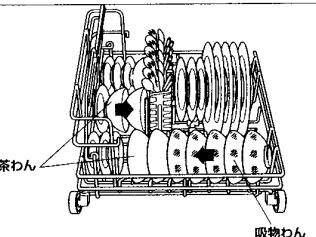


2 皿を入れる

- カップ棚を上げて、その下に小皿を入れます。皿の向きをかえ、中皿、大皿の順に入れます。
- この時、皿の内側が小物入れの方を向くようにセットしてください。

洗える大皿の大きさ

- 洗える大皿の大きさは、直径27cm以下です。

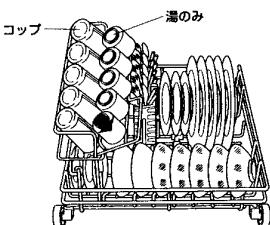


3 わんを入れる

- 茶わん、吸物わんを入れます。

POINT

- この時、手前のわんは左から右へ入れると、スムーズにセットできます。



4 コップ・湯のみをのせる

- カップ棚をおろし、コップ・湯のみをのせます。

カップ棚を横から見た図



お願い

- コップは波形線の山にかぶせる様にのせてください。

POINT

- コップなどの背の高いものは左側に、湯のみや小鉢などの背の低いものは右側に入れると安定します。

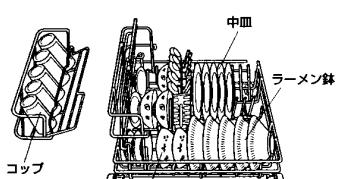
使いかた

食器の入れかた(つづき)

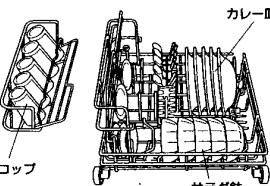
いろいろな食器のセット例

*食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

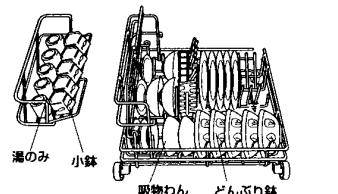
ラーメン鉢の場合



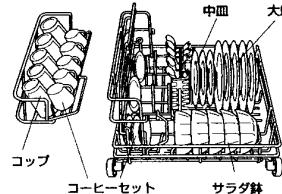
カレー皿の場合



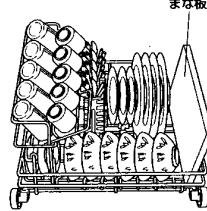
どんぶり鉢の場合



モーニングセットの場合



まな板の場合



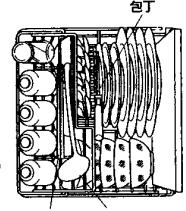
洗えるまな板の大きさ

● 厚み3cm以下、長手44cm以下、短手24cm以下

お願い

- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
- また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。
- カゴを逆方向に入れた場合は、まな板は入りません。

包丁・お玉・さいばしの場合



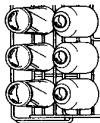
全ての食器をセットしてから包丁を入れてください。

お玉・さいばしは、カッブ棚の上に裏かせて置いてください。

仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合

- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがあります。異常ではありません。



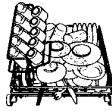
ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合

- 水に含まれているミネラル分のために、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め(一杯半~二杯)に入れてください。



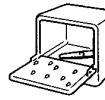
洗えてないものがある場合

- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからみだして、ノズルの回転を止めていますか。



庫内に水滴が残る場合

- 運転終了後に庫内の天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」を使用する、結露現象による水滴の付着が防げます。



食器が黄色く、または薄黒くなっている場合

- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。



ガラス食器類が白くくもる場合

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、浸食が進み白くもることがあります。
- このような場合は、「高温」コースの設定をせずにご使用されることをおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになってしまいませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もつてよく落としてから入れましたか。
- むりな入れ方をしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。

- フィルターを正しくセットしていますか。
- 洗剤を入れ忘れていませんか。
- 専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
- フィルターが目詰まりしていませんか。

凍結・停電・断水したとき

凍結

①電源スイッチを「切」にします。

②タンク内に70℃くらいのお湯を約3L(ヒーターがつかる程度)入れ、解凍してください。

③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「快速洗い」コースで運転できることを確認してください。

停電

①電源スイッチを「切」にします。

②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。

断水

①電源スイッチを「切」にします。

②断水が回復してから使用する場合は、まず他の給湯(水)栓からごった水を流してから運転を開始してください。

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーター及びヒーターカバーが高温のため、触るとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

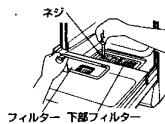
- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。(塗装面やプラスチック部を傷めます。)
- 排気口にゴミがつまたときは、掃除機などで掃除してください。
- ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。
- においや庫内の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに運転してください。(カゴは入れて運転してください。)



下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではすし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
 - 異物がつまたままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、洗えない場合があります。
 - 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
- ※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



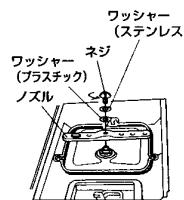
ノズルのお手入れ

本機はノズルからの噴射水によって食器を洗う方法を採用しています。

お湯の出が悪い場合や、ノズルが回転しない場合は、つきの手順でお手入れしてください。

- ①中央のネジをプラスドライバーで左に回してはすし、ノズルを取り出します。
 - ②ノズルの裏側から水を勢よく入れ、水洗いして異物をきれいに落としてください。
 - (水洗いでどうしてもとれない場合は、つまようじ等でつまたものをとり、再び水洗いしてください。)
 - ③取りはした部品は、もとの位置に正しくセットしてください。
- ※取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。

お手入れしても、お湯の出が悪い場合、ノズルが回らない場合は、修理を依頼してください。



ヒーターカバーのお手入れ

●ヒーターカバーにゴミが付着した場合は取り除いてください。(ただし運転終了後30分以降に行ってください。)

- ヒーターカバーのお手入れのとき、ヒーターカバーを変形させないでください。(変形させるとノズルにあたりノズルが回転しなくなる原因になります。)

長期間使用しない場合

- カゴから食器を取り出してください。

●フィルター及び下部フィルターにたまつた残菜をきれいに取り除いてください。

- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに「快速洗い」コースで運転してからお使いください。(カゴは入れて運転してください。)

※寒冷地の別荘などで冬期ご利用にならない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

(水抜きが必要です。水抜きしないと凍結により、配管や給湯通路部品などの破損の原因になります。)

据え付け

・ご使用前にお確かめください。

・据え付け工事に関するものは、工事された販売店に申し出てください。

※本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。

給湯の圧力について

- 給湯の圧力は、0.03MPa(0.3kgf/cm²)以上、1MPa(10kgf/cm²)以下です。水圧が低すぎると給湯に時間がかかり、運転時間が長くなります。
- 給湯器の能力により、お湯が供給されないことがあります。

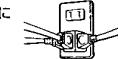
給湯の確認

- 10号以上の先止め式給湯器に接続してください。元止め式の沸騰器には絶対に接続しないでください。本機に給湯されなかつたり、沸騰器から水もれる恐れがあります。
- 70°Cより高温のお湯が供給される給湯配管には接続しないでください。

電源について

△警告

- !
エコセイドは専用で
交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。



電気工事は、すべて電気設備基準に準じて行ってください。

排水ホースについて

- 排水ホースが途中で折れ曲がっていないか確認してください。途中で折れ曲がっていると、排水できなくなります。
- ホースの接続位置を変えて、折れ曲がりのないように調整してください。

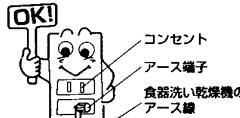
アースについて

*アース工事費は、有料です。

△警告

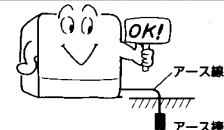
- !
アース端子
万一对の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー（定格電流20A・感度電流30mA）の取り付けをおおすすめします。（詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。）
※アースの付けはすしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



※D種接地工事（第3種接地工事）が必要ですので販売店にてご相談ください。
(アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています)

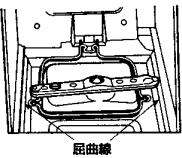
- 次のような場所にはアース線を絶対に取り付けないでください。
(法令などで禁止されています。)
- ガス管・・・・爆発や火災の危険があります。
 - 電話線や避雷針・・・・落雷のとき危険です。
 - 水道管・・・・途中より塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

据え付け(つづき)

➡ 内の数字は説明のあるページです。

水平設置について

①「快速洗い」コースを運転し、洗浄が始またら「スタート/一時停止」ボタンを押しどアを開けてください。

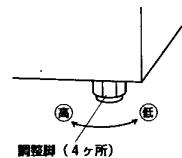


②水槽がタンク両側の屈曲線と平行になっているか確認してください。
その時水面がほぼ両側の屈曲線上にあるか確認してください。

③平行になっていない場合は、電源プラグをコンセントから抜き本体を少し持ち上げ、調整脚の高さを調整し、平行にしてください。

※調整脚は右に回すと低く、左に回すと高くなります。
がたつきがあると、ドアの開閉がスムーズにできない場合があります。

④水平確認が終わったら電源プラグをコンセントに差し込み排水してください。



➡ 排水について 参照

●試運転される場合は、「快速洗い」コースで運転すると約25分で完了します。

(カゴは入れて運転してください。)

※給湯器の温度を高温に設定して試運転した場合は必ず元の設定に戻してください。

パネルの変更(交換)方法

パネルの取り付けかた

本機はパネル(表裏別構造)が取り付けられた状態で出荷しています。パネルを表裏逆にすることにより、ステンレスパネルを黒パネルに変更することができます。また、キッチンなどにパネルの色を合わせたい時はパネルを交換することもできます。(ただし交換パネルは別途調達部品です)

※パネルを変更(交換)される場合には、手袋等を使用し、けがをしないよう十分注意してください。

1. ドア用パネルの変更(交換)方法

①ドアの横枠固定用のネジ2本をはずし、横枠を取り外します。(左右どちらでも取りはずし可能)

②付属のパネルと厚紙を抜き取り、パネルのみを表裏に逆し再度差し込みます。

パネルを交換される場合は、厚紙をはずし、ドア用交換パネルを差し込みます。(パネル寸法 縦240mm×横439mm×厚み2.5~4mm)

③横枠を取り付け、はすしたネジ2本をもどし締め付けます。

2. ケース用パネルの変更(交換)方法

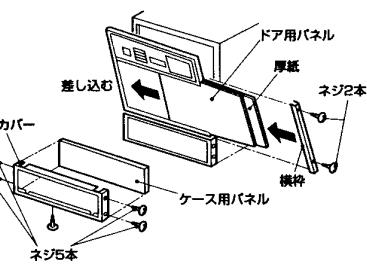
①カバー固定用のネジ5本をはずし、カバーを取り外します。

②付属のパネルを抜き取り、表裏を逆し再度はめ込みます。

パネルを交換される場合は、ケース用交換パネルをはめ込みます。(パネル寸法 縦120mm×横439mm×厚み2.5~4mm)

③カバーを取り付け、はすしたネジ5本をもどし締め付けます。

※厚みが3mm以下のドア用パネルを取り付ける時は、パネルのガタつきを防ぐために厚紙等をセッティングしてから、パネルを差し込んでください。(付属の厚紙は厚み約1.6mmです。)



異常表示

➡ 内の数字は説明のあるページです。

●ランプの点滅とブザーでお知らせします。(16回の連続ブザー音が5分間隔で鳴ります。)

表示部	症 状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全然運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていますか? ●電源スイッチを入れましたか? ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか? ●停電していませんか? ➡ 停電したとき 参照
「表示あり」	●電源スイッチが「切」の状態で排水ポンプが動作している	●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても給湯異常を検知した場合は、水もれを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず本機への止水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
「進行表示ランプ」 洗い・すすぎ・乾燥が点滅	●全然運転しない ●お湯(水)が入らない	●「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか? ●ドアの開閉レバーを「とじる」の位置に合わせましたか?
「進行表示ランプ」 洗いが点滅	●お湯(水)が入らない ●洗い ●すすぎ ●乾燥	●本機への止水栓を開いていますか? ●本機への止水栓は開いているが、水の出が悪い時。 ・本体の給湯ホースと給湯分岐管の間のフィルターを点検してください。 ・このフィルターは、給湯配管内のゴミ等を取る本体の保護用ですが、必ず元どおり取り付けて、接続部からの水もれがないか確認してください。 ・点検するときは必ず本機への止水栓を閉じてから行ってください。 本体の給湯ホース 給湯分岐管 フィルター
「進行表示ランプ」 泡が異常に発生し、排水運転を行った	●専用洗剤以外をご使用されていませんか? ➡ お願い 参照	●断水していませんか? ➡ 断水したとき 参照
「進行表示ランプ」 洗いが点滅	●一般の台所用洗剤で手洗いされたときは食器に付いた洗剤を十分に洗い流されましたか? ➡ 落ちない汚れ 参照	●上記にあてはまる場合は、庫内の泡を洗い流すために、「快速洗い」コースで運転を行ってください。 もし、「快速洗い」の運転時に左記表示が出る場合は電源スイッチを「切」にし、再度「入」にした後、もう一度「快速洗い」コースで運転を行ってください。
「進行表示ランプ」 泡が異常に発生し、排水運転を行った	●庫内の泡を洗い流した後、最初から操作をやり直してください。	●庫内の泡を洗い流した後、最初から操作をやり直してください。

異常表示(つづき) ➡ 内の数字は説明のあるページです。

表示部	症 状	点検・処置のしかた
「進行表示ランプ」洗いが点滅	• ドアを開けてもお湯(水)が出つづけている ●洗い ○すすぎ ○乾燥	• 給湯が止らない場合。 必ず本機への止水栓を閉じ電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
高温・標準・スピーディ・快速洗い・乾燥のみの5つのコースランプが点滅 ●高温 ●標準 ●スピーディ ●快速洗い ●乾燥のみ	• 排水されない	• フィルターに残菜がたまって、目つまりしている? ■2 運転後のあとしまつ 参照 • 排水管ホースが折れ曲がったりつまつたりしているか?
その他	• 上記以外の症状	• 修理が必要です。 表示内容を確認して必ず本機への止水栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

• 修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず本機への止水栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
(この時、どのランプが点滅していたかを控え、修理依頼時にお伝えください。)

• ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

こんなときは故障ではありません

状 況	理 由
電源を「入」にし、「スタート／一時停止」ボタンを押すとすぐに排水をはじめる	本機が正常に運転するように庫内に残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。 • 停電やブレーカーの作動後。 • 异常の検出や電源「切」による中断後。 • 電源プラグを抜き差しした後。
「乾燥のみ」コース以外のコースがスタートすると給湯したあと、すぐに排水をはじめる	• 洗浄開始から、最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために、給湯配管内にたまつた冷たい水を排水します。 ■6 準備行程について 参照
洗浄時間が長い	• 給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源・温度設定を確認してください。 • 給水接続の場合は、所要時間が長くなります。 • 準備行程を取り消していませんか？ ■20 準備行程を取り消したい場合 参照

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。

専用洗剤

- 必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。



- デンプン質やタンパク質に強い酵素配合。
- 茶しぶやガソニア汚れにも強い。
- ハイウォッシュA (800g入)
(商品番号 403804050251)

アフターサービスについて

お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすると危険です。絶対にしないでください。

保証書について

- この食器洗い乾燥機には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめのうえ、大切に保存してください。保証書を紛失されると無料修理期間であっても修理費をいただくことがあります。
- 当社の食器洗い乾燥機の修理用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年間です。
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有償修理いたします。
• 修理用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間のお買い上げの日から1年です。
くわしくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて

国外での保証は

- この商品を使用出来るのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

転居されるとき

- 取り付け、取りはずしのときはお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご相談ください。
- 電源周波数(Hz)の異なる地域へ転居されても50-60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、残水処理を行ってください。
(その後水抜きキャップは、もとの位置に正しくセットしてください。)